

一 野辺地を舞台とする文学

町を見下ろす愛宕公園の文学碑群	鈴木幹人	6
啄木と野辺地	野坂弘子	10
井伏鱒二『野辺地の睦五郎略伝』	鈴木幹人	14
『菜の花の沖』から野辺地のことなどへ	蛭名進一	16
野辺地を訪れた近代文学者の紀行について	竹浪直人	18
最上徳内と野辺地	鈴木幹人	20
作家・高村薫の見た野辺地	野沢省悟	22

二 短歌

野辺地短歌会の歩み	野坂弘子	24
短歌結社「かりん」の歩み	野坂弘子	30
短歌結社「樹林」	小橋順子	34

三 川柳

野辺地川柳社と柳誌「常夜燈」	野沢省悟	37
野沢省悟の足跡	高田寄生木	38
柴崎昭雄の文芸活動	野沢省悟	40
野辺地町出身者の川柳句集	野沢省悟	42

野辺地ふるさと文学散歩

もくじ

四 小説

「東奥小説賞」のこと	畠山則行
「北陽」の日々	今井實人

五 詩

野辺地―想い遥かなり	川田拓也
詩は希望	谷山越郎
私の存在証明	花田宏子

六 俳句

新聞「日本」で活躍した野辺地の俳人たち	舘田勝弘
双川社俳句会と野辺地の俳人	宮澤秀男
「野辺地俳句会のあゆみ」	中村勝夫

七 その他の文芸活動

「のへじ昔つこ」あれこれ	野坂幸子
高松鉄嗣郎さんと三冊の本	佐々木達司

八 野辺地の文学と歴史

あとがき	今井實人
	鈴木幹人